

パソコンいっしょに教室新聞

インターネットでWebページを見ていると表示される「広告」。でも、なぜか以前調べた商品の関連だったりします。どこかで監視されているのでしょうか？

クッキーという仕組み



参照したページ内に「広告」を表示する枠があれば、そこに何らかの広告が表示されますが、何故か自分に興味があるような広告だったり、以前買った物をした関連の商品の広告だったりしません。

これは、そのとき参照したページが、予めそうしてるわけではなく、より適切に表示するために「クッキー」という仕組みが使われています。

気になる商品を探したり、実際にサイトで購入したりなど、普段から様々なメーカーの商品をチェックすることは、日常的に行います。この時にその商品の広告を出したい「広告主」から「クッキー」というデータが送られてきます。そして、その送られたデータはパソコンに保存されます。その結果、自分のパソコンには、そのとき表示された「広告」の情報が残ることになります。後は、どのページを見ても、そのページに広告を表示する枠があれば、以前保存された情報をもとに「広告」が表示されるようになります。



ページに表示される広告の枠

この仕組みは昔から存在しており、企業が効果的に宣伝するための仕組みとして使われています。ウィルスなどではありませんので、特に気に病むことはありませんが、不快感を覚える方も中にはおられるのではないのでしょうか。

広告が追跡表示されない設定



表示される広告をなくす設定ではありませんが、少しでも気にならないように調整することはできます。

商品の閲覧履歴を調整する

「アマゾン」や「楽天市場」などのショッピングサイトで、商品を一覧すると「閲覧履歴」として情報が保存されます。その情報がクッキーとして使われますので、使用されたくない商品の情報は「閲覧履歴」から削除しましょう。



アマゾンの履歴画面
楽天の履歴画面

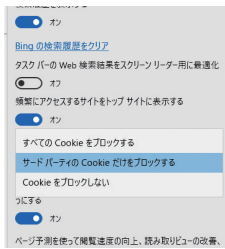
前述のような追跡された感じで表示されることを防ぐことはできません。なお、広告主ごとに設定が必要になりますので、手間暇がかかります。まずはよく使う「アマゾン」や「楽天」のショッピングサイトで登録するのも良いでしょう。



アマゾンの設定画面
楽天の設定画面

クッキーをブロックする

使用しているブラウザの設定で「クッキーをブロック」します。クッキーには2種類あり「ファーストパーティー」と「サードパーティー」のがあります。広告表示には主に「サードパーティー」のものが使われるため、それをブロックします。但し、ブロックすると正しく表示されないページもあります。



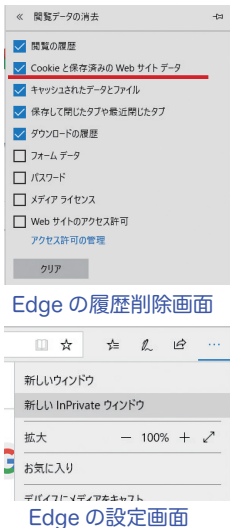
Edge の設定画面

クッキーを削除する

現在、保存されているクッキーを削除します。

閲覧履歴を残さない

各ブラウザには「プライベートウィンドウ」や「InPrivateウィンドウ」というモードがあり、このモードでは閲覧履歴やクッキーなど、一切の履歴の保存は行われません。



Edge の履歴削除画面
Edge の設定画面

興味のありそうな「広告」が表示される便利な機能ですが、時には興味本位でチェックした関連商品が、表示されることもあります。表示される広告は、なくなることはありませんが、ある程度表示を抑制することができます。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month